

SNK MATERIALITY

マテリアリティ(2023年度～2025年度) 特定の手順

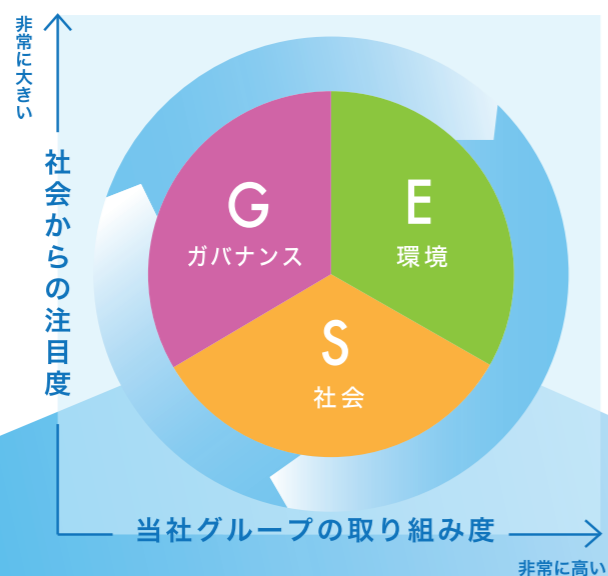
1.

経営課題に取り込むべきマテリアリティは、「社会からの注目度が非常に大きく、当社グループの取り組み度が非常に高い社会課題」(注:下記図では、取り組み重要項目と表現)を抽出し、「E: 環境」「S: 社会」「G: ガバナンス」に分類し、「サステナビリティ推進委員会」にて討議を繰り返し、「サステナビリティ委員会」に答申し、最終的に取締役会で承認された。

2.

マテリアリティは5のカテゴリに分類しました。1～3のカテゴリは、**社会課題の解決**を図り、社会の持続性に貢献することができるマテリアリティである。4～5のカテゴリは、**事業活動の推進や、経営の持続性強化**につながるマテリアリティである。

長期ビジョン「SNK Vision 2030」、中期経営計画「SNK Vision 2030 Phase II」の推進により、企業価値の向上と社会課題の解決を目指してまいります。



経営課題に取り込むべきマテリアリティ

社会課題の持続性に貢献を図り、	1. カーボンゼロに向けた積極的な地球環境への貢献 1-1. GHG排出量削減による地球温暖化防止 1-2. 自然環境(水・大気汚染)保護と共生	E 環境
	2. 技術革新の推進 2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供 2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発 2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進	
	3. 現場力(安全品質確保、サプライチェーンとの関係、技術力)の強化 3-1. 労働災害の撲滅 3-2. サプライチェーンの強化 3-3. 生産性の向上	
事業活動の持続性強化や、	4. 従業員エンゲージメントの向上と人権の尊重 4-1. 健康経営、WLBの推進 4-2. 次世代を担う人材育成 4-3. ダイバーシティとインクルージョン *参照 4-4. 人権の尊重 4-5. ステークホルダーとの対話促進 <small>* (従業員の多様性(ダイバーシティ)を追求するだけでなく、理解し、認め、活かす環境創りやマネジメントを推進)</small>	S 社会
	5. 企業倫理の徹底 5-1. コンプライアンス 5-2. リスクマネジメント 5-3. 情報セキュリティ 5-4. 公正な事業慣行	



SNK Vision 2030 Phase IIの基本課題・マテリアリティ(2023年度～2025年度) 特定したマテリアリティ

ESG	マテリアリティ (Phase-II)	基本課題	基本戦略
E,S	2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発	・当社の強みの深化、差別化に資する技術開発とブランディングの推進	事業基盤増強
E,S	2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供		
S	3-1. 労働災害の撲滅	・ワンストップ施工体制の拡大と持続的なサービスの提供	
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	3-3. 生産性の向上		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・建物ライフサイクルを通じた収益性評価によるストックビジネスの推進	
E,S	2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発		
E,S	2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・社会の持続性に資するソリューションサービスの展開強化	
E,S	2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発		
E,S	2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・社会の持続性を支える成長分野・新エネルギー分野への事業領域拡大	
E,S	2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発		
E,S	2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・海外事業の安定化を目指した人員の拡充と機動的な事業地域の選択	
S	4-2. 次世代を担う人材育成		
E,S	2-2. 減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発		
E,S	2-3. 産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進	・社会の持続性に資する将来技術や新たな事業を創出するイノベーション意識の醸成と推進体制の整備・運用	
S	3-3. 生産性の向上		
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	3-3. 生産性の向上	・業務プロセスの効率的な見直しと、プロジェクトの最適な業務仕分け	
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	3-3. 生産性の向上		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・サプライチェーンの持続性と現場プロセスの効率化を目指した構造変革の推進	
S	4-2. 次世代を担う人材育成		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供		
S	4-1. 健康経営、WLBの推進	・SNK品質の提供と安全の確保による客先資産価値の維持向上	
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン		
S	4-1. 健康経営、WLBの推進		
S	4-2. 次世代を担う人材育成	・時間と場所にとらわれない多様な働き方の一層の推進	
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン		
S	4-2. 次世代を担う人材育成		
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン	・経営戦略に連動した人材ポートフォリオの確立と運用	
S	4-2. 次世代を担う人材育成		
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン		
S	4-2. 次世代を担う人材育成	・経営戦略に連動した教育・研修やリスクリング等を通じた人材育成	
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン		
S	4-2. 次世代を担う人材育成		
S	4-3. ダイバーシティとインクルージョン	・ダイバーシティ&インクルージョンによる新たな価値観の創出	
S	4-4. 人権の尊重		
S	4-5. ステークホルダーとの対話促進		
S	3-2. サプライチェーンの強化	・社員エンゲージメントの向上とそれらを醸成する企業風土づくりの推進	
S	3-3. 生産性の向上		
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	2-1. 優れた施工品質と空気品質の提供	・業務すべてのプロセスのデジタル化の推進と、ナレッジを最大限に活用するマネジメントシステムの構築と運用	
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	3-3. 生産性の向上		
E	1-1. GHG排出量削減による地球温暖化防止	・現場生産性、品質の向上を目指す徹底した現場ICTの推進	
E	1-2. 自然環境(水・大気汚染)保護と共生		
S	3-2. サプライチェーンの強化		
S	4-4. 人権の尊重	・サプライチェーン全体を通じた人権等、サステナビリティを巡る課題への注力、事業を通じたグリーントランスフォーメーション(GX)の推進	
S	4-5. ステークホルダーとの対話促進		
S	4-4. 人権の尊重		
G	5-1. コンプライアンス	・グローバルな情報開示枠組みへの対応と、積極的な社会との対話の促進	
G	5-2. リスクマネジメント		
G	5-3. 情報セキュリティ		
G	5-4. 公正な事業慣行		
G	5-1. コンプライアンス	・持続的成長を可能とするコーポレートガバナンス変革	
G	5-2. リスクマネジメント		
G	5-3. 情報セキュリティ		
G	5-4. 公正な事業慣行		